



「生育のdiversityを生むメカニズムの解明と
well-beingな社会の実現に向けた支援体制の構築」シンポジウム

神経可塑性から子どもの発達をサポートする 10.11 土 13:00-17:30

東洋大学 朝霞キャンパス 2101教室 (2号館 1階)

現代社会では、子どもの発達の多様性に寄り添った理解と支援がますます求められています。本シンポジウムでは、脳・からだ・こころの発達メカニズムを明らかにするため、生命科学・教育学・リハビリテーションなど異分野の知見を結集。特に「神経可塑性」に注目し、発達障害や感覚・運動の課題への支援にどう活かせるかを探ります。

開会のあいさつ：東洋大学学長 矢口悦子

第1部：研究報告「脳とからだの発達と障害——メカニズムから支援への挑戦」

「シナプス可塑性とドレブリン」

児島 伸彦（東洋大学生命科学部 生命科学科 教授）

「自閉スペクトラム症の感覚障害とその脳内メカニズム」

金子（大谷） 律子（東洋大学生命科学部 生命科学科 教授） 准教授）

「触れ合うことで育む身体と心—神経可塑性から説く立川教育学」

永杉 理恵（東洋大学文学部 教育学科 講師）

「子どもの感覚運動機能の発達と支援」

儀間 裕貴（東京都立大学大学院 人間健康科学研究科 理学療法科学域 准教授）

第2部：基調講演

「子どもの神経可塑性を育むための、やさしい支援スキル」

カレン・プライアー博士（PhD, PT, DPT, ND, CH, CPRCS）

Health Sphere ウェルネスセンター 代表

テネシー州立大学 理学療法学部 アドバイザリーボードメンバー

一般社団法人Maoris顧問



※希望者に同時通訳対応可（英語→日本語）：Zoomに接続可能なスマートフォン、タブレット、パソコンなどの電子機器とイヤホンをご持参くださいますようお願いいたします。

閉会のあいさつ：東洋大学生命科学部 学部長 根建 拓

お申し込み

<https://forms.gle/u8XVboYCA73mvdfr9>

参加費：無料（事前参加登録制）

定員：250名（先着順）※定員に達し次第、受付を終了いたします。

申込締切：10月6日（月）



共催：一般社団法人Maoris